

## 一般の部は岩井が優勝 マサシは通算6度目の栄冠

12月4日(日)第36回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会が開催されました。

町、熊本陸上競技協会、熊本日日新聞社、熊本バス株式会社主催。町役場前を発着点とする日本陸連公認コースで実施。

5部門に678競技者がエントリーして熱戦を繰り広げました。正午の天候は晴れ、気温15・5度、湿度48%、北北東の風1.1m/s。

10マイル一般競技者の部は、レース中盤でペースを上げた岩井勇輝(旭化成)が後続を引き離す展開に持ち込み、5年ぶり2度目の優勝。一般の部と同時にスタートとなった同国際競技者の部は、マーティン・マサシ(ススキ浜松ACC)が中間点付近から独走し、大会通算で3年連続6度目の優勝を飾りました。

高校男子10<sup>+</sup>の部は、久保田和真(九州学院)が優勝。中学男子5<sup>+</sup>の部は洲崎遥平(本渡)、女子5<sup>+</sup>の部は右田愛(出水中央高・鹿児島県)が2年連続で優勝しました。

新人賞は一般の部5位の荻野皓平(國學院大)、敢闘賞は同2位の白石賢一(旭化成)と高校男子の部優勝の久保田が獲得。女子敢闘賞は中学1〜3位に与



# 駆け抜ける風

第36回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会

12月4日(日) 町役場発着・日本陸連公認コース

えられ、中川京香（矢部）、橋本香蓮（不知火）、園田実綺子（本渡）が受賞。本町出身者が対象となる地元競技者賞は、中学男子の部2位の梅本龍太（甲佐3年・和田内区）が選ばれました。

◆ 大会結果

◆ 10マイル一般競技者の部

- ① 岩井勇輝（旭化成） 47分08秒、
- ② 白石賢一（同） 47分17秒、
- ③ 松村康平（三菱重工長崎） 47分17秒、出場者106人

◆ 10マイル国際競技者の部

- ① マーティン・マサシ（スズキ浜松ACC） 46分20秒、
- ② アレックス・ムワンギ（YKK） 47分05秒、出場者2人

◆ 高校男子10マイルの部

- ① 久保田和真（九州学院） 29分35秒、
- ② 東島彰吾（鳥栖工） 29分44秒、
- ③ 井上拳太郎（鳥栖工） 29分56秒、出場者192人

◆ 中学男子5マイルの部

- ① 洲崎遥平（本渡） 15分47秒、
  - ② 梅本龍太（甲佐） 16分03秒、
  - ③ 山瀬大成（玉南） 16分04秒、
- 出場者138人

◆ 女子5マイルの部

- ① 右田愛（出水中央高） 16分57秒、
  - ② 安武美香（宗像高） 17分27秒、
  - ③ 宮村袖里（尚綱高） 17分28秒、
- 出場者110人



◆ 写真右・第36回熊本甲佐10マイル公認ロードレース大会の往路での先頭集団の走り。  
 ◆ 写真左上・10マイル一般競技者の部で優勝した岩井競技者（208・旭化成）が独走。大会通算で、5年ぶり2度目の優勝を飾る。  
 ◆ 写真左中・中学男子5マイルの部で先頭集団を引っ張る梅本選手（2026・甲佐中3年）。2位入賞を果たし、地元競技者賞を獲得。  
 ◆ 写真左下・各部門の優勝者（前列。左から中学、高校、一般、国際、女子）と各賞受賞者（後列。左から新人賞、敢闘賞、地元競技者賞、女子敢闘賞）